

# 坂の上通信

令和元年十二月十四日  
広島市立美鈴が丘高等学校  
新聞文芸部(四〇三演習室)

## 生徒会 食堂マナー向上に意欲

### 「利用しづらい」生徒の声を受け

#### 何が問題なのか

昼休みになると、大勢の生徒でにぎわう。生徒から愛用されている、食堂の毎日の風景

だ。以前に行われたアンケートでも、食堂のごはんは温かくておいしい、安い、種類が多いなど肯定的な意見が多かった。

一方で、席が少ないため待ち時間が長く、利用者のマナーも悪いなどといった否定的な意見も多くなった。

#### 生徒会の対策

現在生徒会では、食堂での利用マナーを向上させ多くの人が利用できるような、対策を検討している。ただし見回りや注意といった活動は、時間の関係もあり難しいのが現状だ。

今回新聞文芸部が4時間目直後の食堂に向かうと、荷物を置いて集団で場所取りをしているグループがいくつか見られた。また食堂は本来、食堂内でメニューを注文した人が利用する

#### 食堂に関するアンケートで得られた意見(抜粋)

肯定的な意見	否定的な意見
おいしい、できたて、温かい	人が並んで待ち時間が長い
安い	席が少ない
種類が多い	利用者のマナーが悪い
食堂の従業員が優しい、丁寧	

#### 【アンケートについて】

アンケートは全校生徒を対象に6~7月に実施。75.1%にあたる536名から回答を得た。



持参した弁当での場所取り(イメージ)

促すボクサーなどを作成し、生徒一人ひとりの良識に訴えることにしている。食堂のテーブルにも同様のPOPを置くことになっていくが、効果が

毎年中国新聞社が主催する「みんなの新聞コンクール」。第19回となる今年、美高新聞文芸部が「学校新聞の部」において最優秀賞を受賞した。

### 新聞部 最優秀賞を受賞

副賞5万円

6月の文化祭で実施した、誘導的な質問で世論を作り出す実験的な取組(坂の上通信第90号)が高く評価されたようだ。

また11月24日(日)には中国新聞本社ホールにおいて、協賛の福屋より5万円相当の賞品が贈られた。



中国新聞社長から表彰される福田さん

### 形容詞な〇〇

今回は、美術の鈴木先生にとつての「形容詞な〇〇」を聞いた。お題は「不気味な本」。中でも、今年芥川賞を受賞した「むらさきのスカートの女」(著・

今村夏子)がお気に入りだそう。|どんなところに不気味さを感じますか。主人公の視点、ストーリーに近い人間観察をしていくお話です。読み進めていくうちに語り手の異常さがじわじわと伝わってくることに不気味さを感じました。最後の不思議な

展開も不気味でした。|どんなところに魅力を感じますか。|ぞわぞわする不気味さもふくめて、面白く読める作品だということ。独特な世界観に引き込まれ一気に読めるので、皆さんにもぜひ読んでほしい一冊です。



#### 生活委員長の話

生活委員長である1年5組大橋周可さんにお話を伺った。「部活動や友達同士での席取りによって、空席がなく使いづらさを感じている人がいます。また食事後のおしゃべ

りで滞在時間が長いことも混雑の原因の一つです。食事が終わったらすぐに退席し、弁当を持参している人はできるだけ教室で食べるなどして、気持ちよく食堂が使えるように協力してください。また知らない人同士であっても話して座るなど、お互いの気遣いをお願いします」と話し、生徒一人ひとりの協力を求めた。

#### 食堂一部値上げ

食堂メニューの価格が12月9日(月)から改定された。パンも3学期から値上げとなる。食堂のメニューについては10円から40円、パンについては一律10円の値上げとなる。

最も値上げ幅が大きいメニューはカレーライスと親子丼で、どちらも260円だったが新価格は300円になる。最も高いメニューはごはん・唐揚げ増量のとおりマヨ丼で490円となった(要予約)。また今回の改定をきっかけに、アメリカンソックスほかいくつかのメニューが廃止となる。

この値上げに対し事務室主幹の井手野下さんは「3年ほど値上げりしませんでした。増税により、運送費も含めて小麦などの材料費が高くなりました。申し訳ないですが、ご協力をお願いします」とコメントした。

### 美・鈴・鈴・鈴

日常の中には、様々なマナーが存在している。食事の時のテーブルマナー、電話対応や身だしなみといったビジネスマナー、メールや手紙の上でのマナー、冠婚葬祭のマナー。プロトコールと呼ばれる、世界標準公式マナーもある。▼学校においては携帯電話を使わない、授業中や図書館では静かにする、ということもマナーの一つだろう。マナーと一口にいってもその数は多く、全てを知っておくことは大変だ。▼しかしどれも多くの種類があっても、込められた意味はおおよそ共通している。マナーの基本的な意味は「相手を思いやる気持ち」だ。全体的にマナーは、周囲に不快な思いや迷惑をかけないようにするためのものだ。だからこそ集団で生活する時や場において、人として当然身に付けておくべきものと言える。▼食堂の利用も周囲に目が向けば、とるべきマナーは自ずから見えてくるはずだ。快く利用できるように、まずは「自分から」を心がけたい。

### 編集後記

新聞文芸部も市総文に参加します。ぜひご来場ください。